

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59-39352

⑪ Int. Cl.³
F 16 H 25/22

識別記号

庁内整理番号
7812-3J

⑬ 公開 昭和59年(1984)3月13日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ ボールねじ

富津市千種新田132黒田精工株
式会社富津工場内

⑯ 実 願 昭57-135994

⑰ 出 願 人 黒田精工株式会社

⑱ 出 願 昭57(1982)9月8日

川崎市幸区下平間239番地

⑲ 考 案 者 松井淳

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 外周面にねじ溝を有するねじ軸と、内周面にねじ溝を有し且つボール循環チューブによる循環機構を有するナットと、前記両ねじ溝へ嵌合して循環する多数のボールとからなるボールねじにおいて、前記ボール循環チューブを装着するナットのボールすくい上げ穴及びボール戻し穴を、ねじリード角に合わせた傾斜状態で接線方向に穿設すると共に、ボール循環チューブをナットのボールすくい上げ穴部からボール戻し穴部に至る長手方向の中間で分断した長さの2つのチューブ片により形成し、この2つのチューブ片をナットのボールすくい上げ穴及びボール戻し穴へ各々挿入したのち、分断部分を合致

させてボール循環路を構成したことを特徴とするボールねじ。

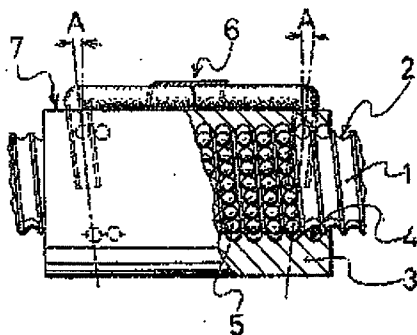
(2) 分断部分を合致させて装着したチューブをナットへ押圧する固定手段を有する実用新案登録請求の範囲第1項に記載のボールねじ。

図面の簡単な説明

第1図は本願実施例による部分断面した正面図を示し、第2図は第1図に示す実施例のボール循環機構の斜視説明図を示す。

(符号の説明)、1……ねじ軸、3……ナット、5……ボール、6……ボール循環機構、8……ボールすくい上げ穴、9……ボール戻し穴、10、11……チューブ片、12……金具、13、13'……ねじ。

第1図



第2図

